

# 不動産登記の記述を守り切る

記述は登記法のパズルである（ピースは択一力）

## 1 記述を制する 4 要素

- ・ 正確なひな型の修得  
問題演習を通じて身に付けるべし。
- ・ 「解法」を早期に確定させる  
思考法の確定にもつながる。  
スピード vs 精密さ。
- ・ 「パターン」を把握してしまう！  
ある程度の量が必要。  
引っかけ方は、有限である。  
先読力の修得。
- ・ 「択一」学習時に記述を意識する！  
論点（×問題を解きまくる⇒○択一登記法学習時に意識する）。  
択一の知識の正確さは、間接的な記述対策につながる。  
ちょっとした意識の差、大きな得点の差。

## 2 解法に関して（思考を型にはめる）

- ・ 記述問題は一期一会と心がけよ！
- ・ 不要な情報を削除し、謄本等へ必要な情報を集約すべし！
- ・ 検討順序（同時に必ず先読みを意識すべし！）
  - ① 謄本整理
  - ② 答案作成に当たっての注意事項
  - ③ 問い
  - ④ 事実関係
- ・ 答案構成用紙は必要無し！  
⇒ 正確度 VS 解答速度
- ・ 解答用紙を最大限活用する  
⇒ ヒントを書き込むべし！  
解答だけを記載しなければならない用紙ではない。
- ・ ある程度まとまってから解答欄へ転記する。
- ・ 添付書面をもらさない手法  
順番を確定する  
登記官目線&なるべくシンプルに
- ・ 演習はとにかく書く！  
所移、抵設等・・・
- ・ 記述過去問は無理に演習する必要無